



# News Release

06-D-900  
2007年1月12日

学校法人 青山学院 (証券コード: -)  
長期優先債務格付据置: 「AA+」 (ダブルAプラス)  
格付けの見通し: 「安定的」

株式会社日本格付研究所 (JCR) は以下のとおり長期優先債務\*の格付けを見直し、据え置きとしましたのでお知らせします。

\* 長期優先債務格付けとは、債務者 (発行体) の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価 (債券の格付け、ローンの格付け等) では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること (上回ること、または下回ること) もあります。

発行体: 学校法人青山学院

## 【据置】

(対象)	(格付)	(見通し)
・長期優先債務	AA+	安定的

## 【格付事由】

- (1) 国内屈指のキリスト教系総合学園。社会の価値観の多様化や、わが国の教育のあり方が見直される中、本学院はキリスト教信仰に基づき、高い倫理観、道徳観を涵養する人格形成の場として一貫教育を行っている。こうした運営は幼稚園から大学に至るまで高く評価されており、本学院の各学校の志願倍率は高水準を維持、安定的な事業基盤を保っている。
- (2) 06年に発表された「アカデミック・グランドデザイン」は、社会の変化に対応しつつも建学の精神を一段と具現化させ、総合学園としての展開を強化すると共に、青山・相模原両キャンパスの立地特性を活かす等、本学院の強みを一段と発揮させる計画であるとJCRは評価している。各々の地の利と伝統を活かした社会人教育の拡充や独自性豊かな新設学部の設置、さらには新たに付属一貫校の開設を検討する等長期的視野に立った事業基盤の強化プランが具体的に数多く企図されている。
- (3) 安定的な学納金収入をコアとして、寄付金獲得、資産運用の強化等によりキャッシュフロー源泉の多様化が図られており、またコストの効率的使用により帰属収支差額は改善傾向にある。今後、「アカデミック・グランドデザイン」を前提とした青山キャンパスの再開プランが本格化し、一時的に投資が嵩むことになる。しかし、当面の高等部の改築や大学校舎の新築に係る資金は、安定したキャッシュフローならびに内部留保資産で対応可能であり、財務の健全性は維持可能である。
- (4) 企業経営トップを兼ねる理事長主導の下で法人・教学両執行部の強化が進められ、今後一段と的確かつ効率を意識した意思決定とその実行が期待される。JCRでは本学院のアカデミック・グランドデザインは、従来以上にキャッシュフロー創出力が増す可能性があるプランと考えており、中長期視点の下で今後の展開に注目していくこととしたい。

以上

(学校格付グループチーフ 吉田法男・シニアアナリスト 殿村成信)

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル

<情報提供電子メディア (検索コード) >

BLOOMBERG (和文: JCRA / 英文: JCR) REUTERS (EJCRA)

QUICK (和文: QR / 英文: QQ) JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026 担当: 情報・研修部

<http://www.jcr.co.jp>